

ガバナー月信 Governor's Monthly Communication

VOL.
5

2023.11.1

Rotary International District 2690 [2023-24]

2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2023-24年度地区ガバナー
石倉 貞昭



葛飾北斎「肉筆画帖(鮎と紅葉)」島根県立美術館蔵

Contents

ガバナーごあいさつ「ロータリー財団月間によせて」	2
2023-24年度地区補助金プロジェクトについて	3
地区補助金 臨時費使用プロジェクト募集要項	
2023-24年度ロータリー財団地区補助金奨学生ごあいさつ	4
第1回青少年交換委員会の報告、並びに	5
青少年交換委員会活動・体験について	
クラブ米山記念奨学委員長研修会ご報告	6
ガバナーの横顔	
地区だより	7
会員数報告	8

Rotary
第2690地区



世界に希望を生み出そう



ロータリー財団月間によせて

地区ガバナー

石倉 貞昭

Ishikura Sadaaki



ロータリー財団の歴史

- 1917年 それは26ドル50セントからはじまった当時のロータリー会長アーチ・クランフが「世界でよいことをするための」基金設立を提案し、これがロータリー財団の前身となりました。最初の寄付はカンサスシティロータリークラブからの26ドル50セントでした。1928年に正式に「ロータリー財団」として命名され、管理委員会が設置されました。
- 1947年 初の財団プログラム
ロータリー財団は国際理解を生むことを目的として、大学院留学の為に奨学金を提供しました。その後も教育の支援は続き、「国際親善奨学金」や「ロータリー奨学金」など、さまざまな名称で知られることとなりました。
- 1965年 奉仕プロジェクトを支える補助金
クラブと地区の奉仕プロジェクトのための初の補助金プログラム「マッチング、グラント」が開始されました。
- 1979年 国際ロータリーがポリオ根絶活動を開始
フィリピンの子どもたちに予防接種する複数年の補助金プロジェクトで、ロータリーのポリオ根絶の取り組みが開始されました。
- 1985年 ロータリーが「ポリオプラス」を開始
「予防接種を通じてポリオを根絶する」というロータリーの決意を伝えるため「ポリオプラス」プログラムが立ち上げられました。ポリオの根絶は現在ロータリーの最優先事項であり、「ポリオプラス」がロータリーとパートナー団体の活動を支援しています。
- 1988年 ポリオ根絶活動のパートナー
ロータリーをよるフィリピンの予防接種活動と国際的なファンドレイジングの成功に触発された世界保健総会は、世界的なポリオ根絶を目的に掲げました。
ロータリーは世界ポリオ根絶推進活動の創立メンバーです。

- 2004年 寄付者を認証する「アーチ、クランフ、ソサエティ」を創設。
250,000ドル以上を財団に寄付した個人、夫婦、団体を認証。
- 2013年 インパクトに焦点を当てた新しい補助金モデル。
ロータリー財団は、地区補助とグローバル補助金からなる簡略化された補助金モデルを導入。マッチング、グラント、国際親善奨学金、研修グループ交換プログラムを中止しました。
- 2014年 ポリオ根絶に向けた進展
かつて、インドはポリオ根絶が最も困難な場所の一つであると考えられていました。2014年、インドで野生型ポリオウイルスによる症例が3年間ゼロだったことから、WHO東南アジア地域がポリオフリーと認定されました。
ナイジェリアでも、同国北部の治安が理由でそれまで予防接種が行き届いていなかった子どもにもワクチンを投与する継続的な取り組みが行われ、3年間症例ゼロを維持することに成功しました。WHOアフリカ地域は2020年に野生型ポリオウイルス根絶が認定されました。
- 2019年 大規模プログラム補助金で大きなイニシアチブを支援
財団は2019年、すでに成果を実証しているプログラムに資金を提供する「大規模プログラム補助金」を導入しました。この補助金の受領者は厳し審査を経て選ばれ、ロータリーの重分野において大規模なインパクトをもたらすプログラムを長期的に実施するための資金を会員に提供します。2021年、初の大規模プログラム補助金の受領者として、「マラリアのないザンビアのためのパートナー」が選ばれました。

2023-24年度地区補助金 プロジェクトについて

地区ロータリー財団委員会 委員長

菊池 捷男 Kikuchi Toshio

(岡山西RC)



平素よりロータリー財団活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第2690地区の2023-24年度地区補助金プロジェクトにつきまして、ご報告いたします。

ロータリー会員およびクラブ事務局の皆さまのご協力により、2023年6月18日にロータリー財団本部へ申請し、2023年7月10日に承認されました。

2023-24年度の地区補助金申請額の上限は、140,008ドル、申請時のロータリーレート（2023年6月：140円）で計算すると、1,960万1,120円です。

申請時の予算は、クラブ提唱プロジェクトが36クラブ

34件（共同申請2件）74,228ドル（1039万1920円）、奨学金が2名に対し合計38,000ドル（532万円）、地区補助金管理セミナー・奨学生オリエンテーションの費用や振込手数料などの補助金管理運営費に15,780ドル（220万9,200円）、臨時費として12,000ドル（168万円）を計上しています。

2023年8月より臨時費を使用したプロジェクトの申請を受け付けています。募集要項を掲載しておりますので、申請をご検討ください。

引き続き、ロータリー財団へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2690地区 2023-24年度 地区補助金 臨時費使用プロジェクト募集要項

国際ロータリー第2690地区は、地区補助金の臨時費を使用したプロジェクトの募集を以下の要項に従って行います。

- 1) プロジェクト内容：
 - ①災害支援 ②子どもの教育 ③環境のいずれかに関連するプロジェクトであること
 募金活動、受益者や協力団体への現金寄付は不可
- 2) 補助金限度額：50万円 クラブの資金負担条件はなし
- 3) 先着順：資金がなくなり次第募集終了
- 4) 申請開始日：2023年8月1日
- 5) 実施期間：プロジェクト承認後～2024年3月末まで
- 6) 送金可能期間：～2024年2月
- 7) 承認：申請から承認まで最低でも約1ヵ月を要する
- 8) 報告期限：プロジェクト完了後1ヵ月以内
- 9) 重複申請可：通常の地区補助金プロジェクトを申請していても申請可
ただし、同時に申請したクラブがあり、臨時費予算限度額に達した場合は、原則として重複申請していないクラブを優先する
- 10) 書式：地区補助金申請・報告書式を使用する
- 11) 手続き：申請ごとに地区で審査・承認を行った後にロータリー財団本部の承認を得る
- 12) 上記に記載のない事項については、3月募集の地区補助金ルールに同じ

臨時費…補助金額の20%までを臨時費に配分することができる。ただし補助金の承認後にプロジェクトまたは活動を追加する場合は、ロータリー財団の事前承認を受けなければならない。（「ロータリー財団 地区補助金 授与と受諾の条件」より）

2023-24年度ロータリー財団地区 補助金奨学生ごあいさつ

ロータリー財団地区補助金奨学生
プラダンシュレヤス



この度、2023-24年度ロータリー財団地区補助金奨学生に選出いただきました、プラダンシュレヤスと申します。ネパール・パタン出身で、生後6か月に日本に移住し、小学1年生から現在まで岡山県岡山市で生活してきました。今年3月に岡山大学大学院・環境生命科学研究科を修了し、9月よりイギリス・マンチェスター大学の修士課程にて国際開発学・計画学を専攻する予定です。

進学するコース「MSc Global Urban Development and Planning」では、発展途上国の都市を中心に、世界の都市計画・開発に関する課題について学修できると考えています。具体的には、受講するモジュールや研究活

動を通じて、世界の都市問題の実例やその対策について学び、発展途上国での都市計画・開発の手法について議論する機会が多いと思います。また、様々なワークショップやイギリス国内外の現地調査に参加し、理論的背景だけでなく、実務上の効果について学修する機会も与えられます。

留学後は、建設コンサルタントへの就職を考えており、国際事業を行う部門の都市計画に関する部署で従事することを目指しています。これに向け、専門性を一層高め、今後の社会貢献に努められるよう、マンチェスター大学での学業に専念いたします。

2023-24年度ロータリー財団地区 補助金奨学生ごあいさつ

ロータリー財団地区補助金奨学生
中田 茉衣



皆様、初めまして。2023-24年度の第2690地区補助金奨学生の中田茉衣（なかだまい）と申します。私は、島根県浜田市に所在する浜田ロータリークラブから派遣され、2023年8月から2024年9月までイギリスロンドンの英国大学院に進学します。ロンドン大学のカレッジの一つであるSOAS University of Londonで、国際開発学のMSc Research for International Developmentという修士コースに在籍します。本コースでは主に、社会問題解決のためのアプローチを模索する学習を積みます。中東のパレスチナ自治区でイスラエル・パレスチナ間の紛争が理由で失業した人々の再就業を支援したいと志し、国際開発学を専攻しました。

英国では、同じくロンドンに位置するThe Rotary Club of Battersea Parkというロータリークラブに受け入れていただけることになりました。今後受入クラブの皆様と、英国での奉仕活動内容、そして私がクラブの皆様と共同させていただきたいと考えているパレスチナ関連の共同事業案等について協議していきます。海外生活は初めてだということもあり期待と不安を感じますが、ロンドンでの刺激的な日々を楽しみつつ、多くのご縁に感謝して過ごしたいです。

定期的に日々の学びの様子を報告書を通じてお届けします。皆様、よろしく願いいたします。

第1回青少年交換委員会の報告、並びに 青少年交換委員会活動・体験について

国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会

森 健太郎 Mori Kentaro



去る8月26日に今年度第1回目の青少年交換委員会を無事に終え、3名のアメリカからの交換留学生在が日本での留学をスタートするに際して、オリエンテーションを行うことができました。地区の委員の皆様には大変お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございました。

さて、私は、国際ロータリー第2690地区、2023-24年度の青少年交換委員のお仕事を拝命しております、岡山ロータリークラブ所属の森健太郎と申します。委員としては7年目となりました。この間、新型コロナウイルス感染症の大流行で、青少年交換プログラムは3年間派遣することも受け入れることもできない期間がありましたので、今年度よりプログラムが再開することができて大変嬉しく思っております。

私の本業は私立中学高校の経営でして、今では全国でも数少ない1年間長期留学プログラムにクラス全員が参加する「英語科」を30年以上続けてきた経験がございます。20代の頃は日本語教師として外国人に日本語を教えたり、国際教育センターという部署を立ち上げて国際理解教育に邁進してきました。途中数年間はオーストラリアのシドニーに留学している英語科の生徒を現地でお世話する留学コーディネーターとしての仕事も経験しておりましたので、国際ロータリーの青少年交換委員会のお仕事を拝命した時には、昔の仕事内容が自分の中で蘇ってきて、いつのまにか楽しみながらお役をさせていたでいる自分に気がつきました。

人間の言語中枢の発達は、18歳前後で完成され、それ以後、新しい言語を身につけることは大変困難なことであることはこれまでの学術研究の結果明らかとなっております。ネイティブの方のように話せるようになりたいといくら努力しても、生理学的に難しいのです。このことを知って、将来、世界に羽ばたき活躍できる日本人を養成したいと考えた父が、当時ではほとんど例のなかった1年間の長期留学プログラムを英語科の生徒全員に経験させるプログラムを開始しました。16歳、17歳での留学

ですから、中には極度のホームシックにかかったり、うつ病に近い症状が出たり、さまざまなトラブルを起こしたり、大変な経験も多くありましたが、ネイティブに近い英語によるコミュニケーション能力と、海外での生活経験を高校時代ですること、素晴らしい人生を歩んでいる多くの卒業生を知っているだけに、国際ロータリーで長年実施されている青少年交換プログラムの崇高な理念には心から賛同しますし、その恩恵を受けることのできる地区内高校生のために全力でサポートしたい、と考えています。

また、交換留學生のホストファミリーをお受けいただいたご家族にとっては、特にお子様の発達期において、掛け替えのない貴重な体験になると思います。生活文化の違いや物の捉え方、考え方の違いを体験できることは日本においてほとんどありませんので、ぜひ多くのロータリアンのご家族にはホストファミリーとして貴重な体験をしていただければと思っております。一生継続新しい家族の一員が海外にできるチャンスとなることでしょう。地区のロータリアンの皆様方には大変お世話になります。どうぞ、ロータリーの青少年交換プログラムの意義をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援を賜ればと思っております。ありがとうございます。



クラブ米山記念奨学委員長研修会ご報告

地区米山記念奨学委員会委員長

又賀敬子 Mataga Keiko

(松江しんじ湖RC)



2023年9月24日、松江テルサにてクラブ米山記念奨学委員長研修会を開催致しました。今年はこの研修会と同時にロータリー米山記念奨学生及び地区米山学友との親睦会もかねて開催致しました。

そのため講師は第5代よねやま親善大使のウェンブ ウェベ・スマナサーラ様（愛称スマン様）をお迎えし、来賓及び地区委員27名、クラブからの出席者69名、奨学生26名、運営委員5名に参加して頂く大きな会（出席者128名）となりました。

プログラムは石倉貞昭ガバナーの開会のことばで始まり、(公財)ロータリー米山記念奨学会評議員の岩崎陽一様、理事の菊地捷男様よりご挨拶を頂きました。続いて石倉ガバナーよりこの秋奨学期間が終了する5名の奨学生に修了書、お世話になったカウンセラーの方2名に感謝状が贈呈されました。なお、ご欠席のカウンセラーには後日感謝状をお届け致しました。

式典の後は 委員長の私が25分ほど時間を頂き地区米山記念奨学委員会活動について報告をさせて頂きました。

70年以上続いている米山記念奨学会の活動はロータリー精神を世界に広め、日本と世界の架け橋になっていること、活動は日本のロータリー会員からの寄付金によって行われていること、そして活動の実情及び事業収支の現状をお伝えしました。2690地区は2024年4月に新たに18人の奨学生を迎える準備を進めています。そして今年度の寄付額の目標は普通寄付5,000円/人、特別寄付10,000円/人とさせて頂いています。会員の皆様 ご協力宜しくお願い致します

その後、お迎えしたよねやま親善大使のスマン様に

「スリランカの僧侶としての歩み～子供の教育と国際平和」との演題で講演をして頂きました。

スマン様は12歳で出家されたスリランカの僧侶で、スリランカの大学卒業後、インドで修士号を取得、2014年来日、2018年4月から大谷大学大学院での博士課程の2年間を京都中ロータリークラブの米山記念奨学生として過ごされ、本年7月に第5代米山親善大使に就任されています。

スマン様からは日本でのロータリーとの出会いは新しい人生がはじまったかのような感じ、世界が大きく広がり、現在の活動に結びついていると嬉しいお言葉も頂きました。現在も研究に励まれ、言葉、国籍を超えた多言語、異文化の理解を通して平和であふれた国際社会にしたいとの思いで奉仕活動を続けていることをお話下さいました。

会場からの質問にもお答え頂き、参加者との交流も深まったのではと思います。

今回は奨学生との親睦会としてはご馳走もお菓子も出来ないシンプルな会でしたが、スマン様のお話は奨学生の皆さまに大きなインパクトを与えたことと思います。

講演後、地区ガバナーノミニの坂口元昭様よりスマン様へ御礼が述べられ、続いて閉会のことばで無事終了となりました。

遠路ご参加頂きました皆さま有り難うございました。今後とも宜しくお願い致します。

(追伸：研修会の後、スマン様は幡代表幹事の案内でインド哲学や仏教学の世界的権威の中村元博士の記念館を訪問され、中村博士の著作や遺品に触れられ感激して帰途に就かれたそうです)



2023年9月 地区だより

新会員紹介



伊藤 等 倉吉東RC 栗原 俊明 米子RC 山尾 義己 松江RC 藤原 芳郎 松江南RC 園山 充彦 出雲RC 加藤 優子 倉敷中央RC 定久 徹 津山RC 三宅健太郎 岡山北西RC 小寺 未来 岡山旭川RC



ダニエル・セレン 岡山中央RC 天峰小百合 岡山丸の内RC 新名 信介 岡山西南RC

ロータリー財団への寄付

- ポール・ハリス・フェロー（ポリオプラスへの寄付）
木原 章雄③（岡江南RC）
- ポール・ハリス・フェロー（年次基金への寄付）
木山 剛④（米子RC） 小阪 真二③（出雲RC）
石田 修司②（出雲南RC） 伊藤 和之①（出雲南RC）
内藤 正和①（出雲南RC）
- ポール・ハリス・フェロー（災害救援基金への寄付）
宮本 大三①（笠岡東RC）
- メモリアル・コントリビューター
宮本 大三（笠岡東RC） 母 宮本幸枝のために

クラブポリオプラス

岡山RC 609.59ドル 岡山西RC 301.37ドル

クラブ年次基金

出雲RC 410.96ドル（ミリオンダラーミール）
出雲RC 11.00ドル（新会員寄付）
出雲南RC 287.67ドル（ミリオンダラーミール）
笠岡東RC 147.95ドル（ミリオンダラーミール）
岡山RC 595.89ドル（ミリオンダラーミール）
岡山RC 965.76ドル（社会奉仕鍋）
岡山RC 39.45ドル（新会員寄付）

米山奨学会への寄付

- 米山功労者
岩崎 陽一⑦（鳥取西RC） 小原 忠志②（総社吉備路RC）
津高 篤②（総社吉備路RC） 渡辺 祐三⑨（倉敷南RC）
畑島 美緒⑦（岡江南RC）

クラブ普通寄付

益田RC 134,600円 総社吉備路RC 75,000円

クラブ特別寄付

出雲RC 102,500円（米山ランチ、新会員寄付）

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

澄川達夫（出雲南RC）

ご逝去日／2023年9月16日 享年／81
入会日／1987年3月6日



山名照知（笠岡RC）

ご逝去日／2023年9月24日 享年／68
入会日／1997年3月4日



亀川周明（備前RC）

ご逝去日／2023年9月19日 享年／82
入会日／1981年3月1日 名誉会員



クラブからのお知らせ

【松江南ロータリークラブより】
会長が「山本広之」会員に交代いたしました。
【井原ロータリークラブより】
電話番号、FAX番号が変更になりました。
変更後の番号は、「0866-75-4715」電話・FAX共通です。

【VOL.5 表紙】

葛飾北斎《肉筆画帖（鮎と紅葉）》

天保中～末期（1835～44）頃、紙本着色、
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

天保の飢饉の折、浮世絵版画が売れなくなったため、北斎が肉筆の画帖（アルバム）を描いて飢えをしのいだ、という伝承があります。本作品はその伝承にある画帖と考えられるもので、花・鳥・魚・小動物・器物を描いた10の図が収められています。「鮎と紅葉」はその内の1図で、3尾の鮎が清流の中を気持ちよさそうに遊泳する様子が描かれています。こうした明るい色彩と緻密な描写は全10図で貫かれており、本画帖は北斎生涯の代表作の一つに挙げられています。



会員数報告 (2023年9月)

クラブ名	例会数	会員数				
		7月1日	9月末日	内女性会員	増減	
第1グループ	智頭	4	5	5	0	0
	倉吉	3	38	41	2	3
	倉吉中央	4	17	17	2	0
	倉吉東	4	46	48	5	2
	鳥取	3	58	60	3	2
	鳥取中央	2	27	34	1	7
	鳥取北	4	45	47	6	2
	鳥取西	3	55	55	3	0
	小計(8)	—	291	307	22	16
第2グループ	境港	4	43	44	1	1
	米子	2	68	69	4	1
	米子中央	3	41	42	2	1
	米子東	3	102	103	14	1
	米子南	3	68	70	5	2
	小計(5)	—	322	328	26	6
第3グループ	松江	3	60	64	1	4
	衛星クラブ	2	9	9	5	0
	松江東	3	49	49	4	0
	松江南	2	65	65	5	0
	松江しんじ湖	3	45	46	10	1
	隠岐西郷	4	26	27	2	1
	小計(5)	—	254	260	27	6
第4グループ	平田	3	37	38	1	1
	出雲	3	51	53	1	2
	出雲中央	3	47	46	3	▲1
	出雲南	3	84	82	6	▲2
	大社	3	48	50	5	2
	小計(5)	—	267	269	16	2
第5グループ	江津	4	40	40	3	0
	浜田	4	56	58	5	2
	益田	3	19	20	2	1
	益田西	4	31	32	2	1
	大田	4	24	24	3	0
小計(5)	—	170	174	15	4	
第6グループ	井原	4	37	37	1	0
	笠岡	4	49	48	3	▲1
	笠岡東	3	39	41	1	2
	新見	3	24	24	3	0
	総社	4	14	14	2	0
	総社吉備路	4	29	30	1	1
	高梁	4	34	36	1	2
	玉島	4	27	28	5	1
小計(8)	—	253	258	17	5	

クラブ名	例会数	会員数				
		7月1日	9月末日	内女性会員	増減	
第7グループ	児島	2	15	16	0	1
	児島東	3	10	11	0	1
	倉敷	5	74	76	1	2
	倉敷中央	3	16	18	7	2
	倉敷東	3	29	30	4	1
	倉敷南	3	57	59	3	2
	倉敷水島	3	17	17	0	0
	倉敷瀬戸内	3	34	34	1	0
	小計(8)	—	252	261	16	9
第8グループ	真庭	3	29	30	1	1
	美作	3	26	26	2	0
	津山	3	95	97	5	2
	津山中央	3	11	11	3	0
	津山西	4	32	33	4	1
小計(5)	—	193	197	15	4	
第9グループ	備前	3	41	44	7	3
	岡山	3	113	118	6	5
	岡山東	4	96	97	1	1
	岡山北西	3	47	51	3	4
	岡山後楽園	4	48	47	1	▲1
小計(5)	—	345	357	18	12	
第10グループ	岡山旭川	4	36	37	2	1
	岡山中央	3	24	25	5	1
	岡山北	4	49	49	4	0
	岡山南	4	152	157	20	5
	玉野	3	25	26	0	1
小計(5)	—	286	294	31	8	
第11グループ	岡山備南	3	20	20	1	0
	岡山城	4	20	21	1	1
	岡山岡南	3	25	25	2	0
	岡山丸の内	4	50	51	4	1
	岡山西	3	66	70	14	4
	岡山西南	3	48	52	7	4
小計(6)	—	229	239	29	10	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2023年7月1日会員数	2,862名
2023年9月末日会員数	2,944名
内女性会員数	232名
純増	82名

